１．　環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	4	事例№	3	依頼者	おかざき自然体験の森	実施場所	おかざき自然体験の森
実施対象	大学 2、3 年生　7 名						
実施日時	令和 7 年 11 月 8 日（土）　13 時 30 分～16 時 30 分						
テーマ	イベントサポーター学生向け環境学習リーダーの養成						

●依頼内容

イベントサポーター学生向け環境学習リーダー養成講座（座学）の企画と講師の紹介。

●講師：原　理史　氏　（中部地方 ESD 活動支援センター、中部大学国際 ESD-SDGs センター）

原氏は、EPO 中部および中部大学中部高等学術研究所に所属するとともに、中部地方 ESD 活動支援センター担当責任者、名古屋産業大学大学院非常勤講師などを務めている。これまで、子どもから大人まで様々な年齢層を対象に、ESD をはじめとする環境問題に関わる各種講演会の実績がある。

●授業の内容

アイスブレイク・インプット	講座は、環境学習リーダーの心構えを学ぶとともに子どもたちに提供するプログラムの企画運営のスキルアップを図ることを目的に行われた。参加者は 2 つのグループに分かれて自己紹介を行い、それぞれリーダーを選出した。つづいて、講師から本ワークショップの目的と意義の説明を受け、企画運営者の ESD スキルアップの重要性について学んだ。	30 分
ディスカッション	グループごとに、「学び合いの場」としてのイベントのテーマを SDGs を考慮しながら決めた上で、どのような形式でイベントを行うのかについて話し合った。	40 分
休　憩		10 分
ワーク・プレゼン・ふりかえり	グループごとにイベントの企画を考え、その内容をワークシートにまとめた。企画がまとまったら、イベントの参加者やその保護者になったつもりで見直しを行い、内容の修正、ブラッシュアップに取り組んだ。最後に各グループの企画を発表し、講師から講評を受けた。	100 分

●授業の様子

講座は、環境学習リーダーを志す学生 7 名が参加して行われた。環境学習リーダー養成講座は 3 回シリーズで計画されており、本講座はその 2 回目として実施された。本講座で企画した内容は、第 3 回の講座（12 月開催）で小学生を対象とするイベントとして実施することが予定されており、参加者は真剣に講師の話を聞くとともに、ディスカッションおよびワークの時間には参加者同士で活発な議論を行っていた。

環境学習リーダーの心構え等について学んだ。



「学び合いの場」としてのイベント企画に取り組んだ。

